

## 精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議第1グループ議事摘録

日時：7月13日（月）13時00分～15時00分

場所：庁舎6階 委員会室

### 1 開会

### 2 町長挨拶

### 3 出席者の自己紹介

【出席者】 出席者から自己紹介。

### 4 事務局紹介

【事務局】 事務局メンバーの紹介及び有限責任監査法人トーマツの紹介。

### 5 資料説明

【事務局】 （仮称）精華町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定における基本的な考え方について、今回の総合戦略と精華町の総合計画との関係及び今後のスケジュールに関して説明。

【トーマツ】 精華町の人口基礎調査分析・アンケート調査結果を要約した形で説明。

【事務局】 シティプロモーション事業に関する説明。

### 6 ブレインストーミング（意見交換）

中村氏を座長として、意見交換

【中村氏】 精華町と他市町村を比べた際の強み・弱みに関して意見はあるか。

【常山氏】 退職前に仕事しているときは、精華町に住んではいたが、精華町との接点はほとんどなかった。精華町は自然が多いことや国会図書館があることが強み。これだけ先端企業が揃っており、地域で自然がここまで残っていることがすごいと思う。退職前にそういうことを知っていれば、退職前にも自分が暮らす土地を誇りに感じる事ができていたかもしれない。

【吉田氏】 精華町は、人口が増加し続け、住民が 3.7 万人もいるが、このような町は周辺には存在しない、それが誇らしく思う。また、高額納税者も多い。町の西には生駒山があり、東には木津川が流れており、これほど自然に恵まれた町はないと思う。そこに学研都市ができ、融合されてきて転入者が多くなった。今後も転入者を増加させるために、その誇らしいところを町として打ち出して欲しい。

【本政氏】 精華町の強みは学研都市ということが一番の強みだと思う。国会図書館やそれ以外の国の研究施設にしてもそう。「東のつくば、西のけいはんな」と呼ばれており、町に多数の研究所があることが強みだと思う。裏を返すと、それ以外のものというものをこれからどのようにアピールしていくか。「東のつくば、西のけいはんな」というフレーズが全国的にどこまでアピールできているか。学研都市に国会図書館があり、アジア関連の書籍が日本の図書館で 1 番多いということをどこまで知られているのか、そうしたことをアピールしていくことが大事だと思う。それがシティプロモーションにも繋がっていくと思う。

【森家氏】 精華町に住んでいる同僚に話を聞いたところ、アンケートの回答にあったように、精華町の強みは、自然が多い、環境が良い、住みやすいと答えていた。トーマツから RESAS で調べたデータがあったが、私も産業面に関して精華町の強みを調べてきたが、精華町は創業比率が非常に高い。学研都市の周辺に新たに会社を作る方が多いのだと思う。創業した企業をケアし、ケアできる環境を用意することが大事になってくるのではないかと。また、全国的に見て創業比率が高いことを、今後どのようにアピールしていくかということも大事になると思う。

【中村氏】 他市町村との比較における強みとして、自然が多いことが皆の意見で共通する。また、先端の研究機関、東のつくば、西のけいはんなということが挙げられる。精華町に住んでいる学生に話を聞くと、東のつくば、西の精華町と言っているくらい精華町を誇りに感じている学生がいる。一方、学生にアンケートを取った場合、精華町に関して、3:7 から 2:8 で知らない人が

多く、いかに外にPRしていくかが課題だと思う。創業比率が高いという面で、研究や起業をこれからどのように推進していくかに関して、話をしていきたい。先ほど、シティプロモーションの5つの柱の説明を受けたわけだが、今後これらを踏まえてどういったことが有効なのか、それぞれの立場から伺いたい。

【常山氏】 関東では、けいはんな学研都市の知名度は高くなく、関西に住んでいてもあまり知らないという人が多い。推進機構のホームページは、階層が深く、情報量が多く、閲覧者が欲しい情報を得られず見にくいという声が多いため、ホームページをリニューアルした方が良いという意見が出ている。どのようなホームページがいいのかというと、岡山県の西栗倉村のホームページが非常に見やすく、参考になる。西栗倉は若い人が増えている。西栗倉村のホームページを精華町の方も見たら良いと思う。西栗倉村はフェイスブックが充実しており、運用の基準もあり、情報発信もしており、推進機構も同じようなものを作ればよいなと考えている。華創は、写真が多くて読みやすく、読む方も高齢者が多いため、今のままでよいと思うが、精華町のホームページは、推進機構と近い課題を抱えていると思う。

【中村氏】 ホームページや広報の観点から良いアドバイスをいただいたが、関連したことで何かあるか。

【本政氏】 色々な情報発信をすることが大事だと思う。国立研究開発法人情報通信研究機構で200インチの立体視ディスプレイにより立体画像を見ることができる装置がある。うめきたのナレッジキャピタルで展示されており、一般の方に技術力をアピールされている。しかし、来年3月末以降の利用予定が決まっていないと聞いている。それを使い、京町セイカちゃんの立体画像によって、様々な学研都市や精華町の情報アピールしていくようなツールができると、学研都市にある研究所の技術力もアピールできると思う。

【中村氏】 京町セイカということ言えば、若い世代にもアピールできると思う。他にどうか。

【吉田氏】 祝園駅と新祝園の間の連絡橋で、机を置いたりしてする、ア

ナログな情報発信の取り組みはどうかと考えている。近鉄の改札を出たところに精華町の大きな掲示板があるが、貼っているだけではなかなか説得力がない。ちょっとした机の設置をお願いし、地元根付いた情報発信をしていくという提案である。

【森家氏】 精華町らしさを一つでも二つでも設けるのが大事だと思う。子どもたちに科学を学ぶという機会を提供するということは精華町の強さだと思う。打ち出し方は難しいかもしれないが、精華町らしさを全面に押し出すことを考えるとよいと思う。他の自治体さんも自分のまちらしさを切り口として出すことが難しいという話をよく聞くため、シティプロモーションに挙がっている内容を充実させていければ、精華町らしさに繋がるのではないか。

【中村氏】 シティプロモーションの1つ目に関する情報発信の強化ということでいえば、先ほど話に挙がっていた、梅田のナレッジキャピタルにある大型スクリーンはPR力があり、そういったところに精華という名前を、京町セイカちゃんを活用してアピールしていくことは情報発信の目玉のひとつになりえると思う。シティプロモーションの2つ目に関しては、地域に誇りを持つ教育の推進ということが森家さんから挙がっていたが、教育に関して皆さんの意見を伺いたい。考えていただいている間に私から話をさせていただくと、先ほど常山さんからホームページ作りはコストがかかるという話があったが、ブレストなので可能かどうかは後ほど判断していただきたいが、けいはんな周辺の高等教育機関、京都大学・奈良先端大学・同志社大学などとの連携は図ることができるのではないか。また、今の若年層にネットで情報発信をできるようにすることも大事だと思う。たとえば、インターンシップなどを利用する学生と連携し、ホームページやSNSといったインターネットを活用した情報発信をしてもらえれば、コスト的にも下がってくるのではないかと思う。今、話をつないでいた間に思いついたことがあれば伺いたい。

【常山氏】 中村先生の話で大学生と連携するという話があったが、株式会社国際電気通信基礎技術研究所のベンチャーでいい仕事をしているところがある。地元のベンチャーを活用する道もあると

思う。

【中村氏】 私は1年間アメリカで海外研究をしていた。最初の半年間はスタンフォード、シリコンバレーに行っていた。精華町は高度な学術の町というシリコンバレーに共通するところがある気がする。教育面でいえば、研究機関と高等教育機関の若い世代との連携を推進していけると良いと思う。学生は経験が少ないためインターンシップで経験を得られる、町としては費用を抑えて学生を活用できる、そうなればウィン-ウィンの関係になると思う。また、シリコンバレーでは研究開発を行う研究所の見学ツアーを行う方もいる。海外からの観光客を京都市から精華町まで引っ張ってくるできないかという視点もあると思う。

【森家氏】 科学や教育に関して精華町さんもやられているが、子どもたちが精華町に集まってくるように、科学を学習するには精華町ということにしていけばよいのではないかと。先ほども話があったが、大学の先生が色々教えてくれる、学生さんが色々教えてくれる、研究所の方が色々教えてくれるといったところがあれば良いと思う。こういう話ができる自治体はあまりない。また、創業率が高いということに加え、精華町は学術研究費に対する域外への取引、それによる収入が全国的に高いというデータが出ている。こういったことから、科学のまち、精華町ということを目指していけばよいのではないかと。

【吉田氏】 24年前の昔の冊子に当時の子どもたちが書いた将来の精華町というものがあり、それを見ると現在の精華町を的確に予想している子どもたちもいる。子どもや学生と交流を深く広くもてればよいと思う。子どもの夢を尊重するということで。

【本政氏】 学研都市ということ子ども教育環境の充実に使っていくということは有効なことだと思う。教育環境が充実しているところには親御さんは喜んで行かれる。京都の御所南学区は教育環境が充実しているということで、人がいっぱいプレハブの校舎で授業をしている。精華町でも科学系の勉強ができるということがアピールできればよいのではないかと。

- 【中村氏】 企業や研究所の見学ツアーといったものが存在しないため、それができるようにしたらよいのではないかと。また、グローバルコミュニケーション学部の所属学生の中には、翻訳をかってでたいという日本人の学生・留学生の学生もおり、協力することができると思う。また、国際学会を開けるようなコンベンションセンターも考えることはできると思う。関西空港・京都駅からのシャトルバスなどで、より便利がよくなると、観光客にも1泊や2泊はしてもらえないのではないか。
- 【吉田氏】 商工会としての考え方だが、長期的な生家のリフレッシュという切り口で、外国人が使用する長期的なシェアハウスや高齢者を始めとした福祉への空き家の活用を考えて欲しい。空き家対策事業を町としても取り組んでもらえると、商工会としてもやりやすい。また、祝園駅・新祝園の南側は夜になると、暗く、不気味な雰囲気になり、急行停車駅としての姿ではないと思うが、商工会で対応できることではない。
- 【中村氏】 インフラの話が出たが、町全体に Wi-Fi を配備することも検討してはどうか。京都市もやっているが、シリコンバレーもずいぶん前から実施しているが、精華町も考えてみてはどうか。他に意見はないか。
- 【常山氏】 インフラ面でいうと、精華町の施設を住民がもっと使うことができればよいのではないかと。また、木津川流域、精華町には文化遺産がたくさんある。突拍子もないが、木津川市にある山城郷土資料館は昭和47年からある施設だが狭いため、精華町に持ってきて、精華町を含めた南山城の歴史を提示するとよいのではないかと。
- 【吉田氏】 お茶の京都とのコラボを考え、商工会で地元の職人さんを集めたスイーツ事業を立ちあげた。女性の考え方を全面に打ち出し、女性の意見を尊重したスイーツ事業を今後立ち上げようと考えている。
- 【森家氏】 地域産品の6次産業化に向けた活動は、経済産業省も推し進

めており、国のメニューも利用しながら、進めていただければと思う。

【中村氏】 インフラという面でいえば、町の中だけということではなくたとえば、京都からの電車やバスの車両の外や中にセイカちゃんの画像を貼ってもらうのはどうか。また、駅近の保育関連の施設を作ることもアイデアとして提案したい。複数の企業が出資してコンソーシアムという形で保育所を作るということもある。

【中村氏】 時間が来たため、これでブレインストーミングを終了する。

7 事務連絡

【事務局】 次回は8月のお盆前後に開催予定している。

8 閉会

以上